

<凡例>

- ① 国の指針の改正を受けたもの…赤字
- ② 7教振を踏まえ文言を整理したもの…青字
- ③ 見やすく使いやすくなるよう体裁を整理したもの…緑字

改正前

山形県教員指標

山形県教育委員会

1 策定の趣旨

山形県教育委員会は、教育公務員特例法第22条の3に基づき、文部科学大臣が定める指標の策定に関する指針を踏まえ、県内教職課程を有する大学及び各市町村教育委員会、各学校、保護者、産業界の共通認識を得るとともに、パブリックコメントを通じて広く県民の意見を反映させ、本県教員が「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」（令和3年1月中央教育審議会答申）で示された新しい時代における教員の姿を実現するため、高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付ける資質・能力を明確化した指標を定める。

2 性格

指標は、本県教員が主体的に資質向上を図る際、教員としてのキャリアステージ全体を見通し、自らの職責、経験、適性に応じて効果的・継続的な研修を行うための目安であり、県教育委員会が研修計画を策定する際に踏まえるべきものとする。

また、校長は、指標及び研修計画、研修等に関する記録を踏まえて、教員に対し資質の向上に関する指導助言を行うものとする。

なお、指標は、人事評価に用いるものではない。

3 指標が対象とする教員等の範囲

県教育委員会が任命権者となる県立学校、市町村立小・中学校・義務教育学校の校長、副校長・教頭、主幹教諭、教諭（常勤講師及び短時間勤務教諭を含む）、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭とする。

（非常勤講師については対象としないが、研修機会の充実に努め、資質向上を図る。）

なお、市町村立幼稚園及び市町村立幼保連携型認定こども園の教員等の指標については、各市町村教育委員会の参考となるよう策定した。

4 校長の指標

校長の職責及び役割の大きさに鑑み、校長の指標を策定する。

5 本県が採用時に求める教員の姿（※山形県教員選考試験 基本方針より） 略

6 本県教員に求める「着任時の姿」 略

7 指標の段階

指標には、本県教育委員会が新規採用教員に対して求める資質を「着任時の姿」として第一の段階に位置付け、それも含めて以下の段階を設ける。

○教諭、養護教諭、栄養教諭、幼稚園教諭のキャリアステージ（5段階）

- ・着任時の姿 (初任時)
- ・始発期 ※ (初任時～3年目)
- ・成長期 ※ (4年目～10年目)
- ・充実期 ※ (11年目～20年目)
- ・組織運営期 ※ (21年目～退職)

※キャリアステージごとに示した経験年数は、各教員が自ら資質向上を目指す際のおくまでも目安であり、研修を受ける際等に参考とするものである。

例えば、本県教員としては初任であっても、他県で教員としての経験を積んでいる場合などは、成長期にあたる研修で自らの資質向上を図ること等も考えられる。

改正案

山形県教員指標

山形県教育委員会

1 策定の趣旨

山形県教育委員会は、教育公務員特例法第22条の3に基づき、文部科学大臣が定める指標の策定に関する指針及び山形県教育振興計画の趣旨を踏まえ、県内教職課程を有する大学及び各市町村教育委員会、各学校、保護者、産業界の共通認識を得るとともに、パブリックコメントを通じて広く県民の意見を反映させ、本県教員が「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」（令和3年1月中央教育審議会答申）で示された新しい時代における教員の姿を実現するため、高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付ける資質・能力を明確化した指標を定める。

2 性格

指標は、本県教員が主体的に資質向上を図る際、教員としてのキャリアステージ全体を見通し、自らの職責、経験、適性に応じて効果的・継続的な研修を行うための目安であり、山形県教育委員会が研修計画を策定する際に踏まえるべきものとする。

また、校長は、指標及び研修計画、研修等に関する記録を踏まえて、教員に対し資質の向上に関する指導助言を行うものとする。

なお、指標は、人事評価に用いるものではない。

3 指標が対象とする教員等の範囲

山形県教育委員会が任命権者となる県立学校及び市町村立学校の校長、副校長・教頭、主幹教諭、教諭（常勤講師及び短時間勤務教諭を含む）、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭とする。

（非常勤講師については対象としないが、研修機会の充実に努め、資質向上を図る。）

なお、校長の指標は、職責及び役割の大きさに鑑み、教諭とは別に個別の指標を策定するものとする。また、市町村立幼稚園及び市町村立幼保連携型認定こども園の教員等の指標については、各市町村教育委員会の参考となるよう策定した。

（「3 指標が対象とする教員等の範囲」に移動）

（指標の「着任の姿」と内容が重なるため削除）

（指標に示されているため削除）

4 指標の構成

（1）指標には、山形県教育委員会が新規採用教員に対して求める資質を「着任時の姿」として第一の段階に位置付け、それも含めて以下の段階を設ける。

○ 教諭、養護教諭、栄養教諭、幼稚園教諭のキャリアステージ（5段階）

- ①着任時の姿 (初任時)
- ②始発期 ※ (初任時～3年目)
- ③成長期 ※ (4年目～10年目)
- ④充実期 ※ (11年目～20年目)
- ⑤組織運営期 ※ (21年目～退職)

※キャリアステージごとに示した経験年数は、各教員が自ら資質向上を目指す際のおくまでも目安であり、研修を受ける際等に参考とするものである。

例えば、本県教員としては初任であっても、他県で教員としての経験を積んでいる場合などは、成長期にあたる研修で自らの資質向上を図ること等も考えられる。

改正前

9 指標の構成

- (1) 指標のキャリアステージ（5段階）を横軸とし、各観点を縦軸として、キャリアステージ及び観点到した項目内容を記述し、表を作成している。
- (2) 各キャリアステージにおいて○印を付けた重点項目は、各教員が自らの資質向上を図るため研修を受講する際などに、目安として活用できるようにするものである。（その重点の時期以前に、研修及び教員としての経験等により身に付けておくことは、より望ましい。）
- (3) 指標の「始発期」に位置付けた重点項目は、「探究型学習の趣旨理解」、「郷土愛の育成」、「ICT機器の活用」など、本県教育の充実に向けて、教職の早い段階から身に付けてほしい資質として示したものである。特に、養護教諭や栄養教諭には、学校において、より専門性の高い教員としてその能力を発揮してほしいという考えから、「始発期」により多くの重点項目を位置付けている。
- (4) 県教育委員会は、指標のキャリアステージ及び観点等を踏まえ、各教員が資質向上を図るための研修計画を策定する。

8 指標の内容を定める観点

指標の内容を定めるため、教諭用、幼稚園教諭用、養護教諭用、栄養教諭用にそれぞれ、以下の観点を設定する。

教諭用	
A：教職の実践に関する資質・能力	B：教職の素養に関する資質・能力
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">担任力</div> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導力 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒理解力・教育相談力 ・集団指導力・学級経営力 ○学習指導力 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的授業力・カリキュラムマネジメント ・指導の積極的改善 ・教師としての専門性の構築、専門教科の指導力強化 ○特別支援教育力 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の理解と実践力 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な人間力 <ul style="list-style-type: none"> ・社会力 ・豊かな人間性・教養 ・学び続ける姿勢 ○教育公務員としての自覚 ○チームマネジメント能力 <ul style="list-style-type: none"> ・経営参画意識 ・連絡調整力 ・チーム運営力 ・後輩への指導・助言力 ○危機管理対応能力 <ul style="list-style-type: none"> ・学校安全の意識 ・学校情報管理の意識
○ICT活用力・情報モラル	

養護教諭用	
A：養護教諭の実践に関する資質・能力	B：教職の素養に関する資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> ○養護教育力 <ul style="list-style-type: none"> ・健康相談力及び保健指導力 ・保健管理力 ・保健室経営力 ○特別支援教育力 ○ICT活用力・情報モラル 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">※教諭用と共通</div>

改正案

- (2) 指標のキャリアステージ（5段階）を縦軸とし、各観点を横軸として、キャリアステージ及び観点到した項目内容を記述し、表を作成している。
- (3) 各キャリアステージにおける重点項目は、各教員が自らの資質向上を図るため研修を受講する際などに、目安として活用できるようにするものである。（その重点の時期以前に、研修及び教員としての経験等により身に付けておくことは、より望ましい。）
- (4) 指標の「始発期」に位置付けた重点項目は、「探究学習の趣旨理解」、「郷土愛の育成」、「ICTの活用」など、本県教育の充実に向けて、教職の早い段階から身に付けてほしい資質として示したものである。特に、養護教諭や栄養教諭には、学校において、より専門性の高い教員としてその能力を発揮してほしいという考えから、「始発期」により多くの重点項目を位置付けている。
- (5) 山形県教育委員会は、指標のキャリアステージ及び観点等を踏まえ、各教員が資質向上を図るための研修計画を策定する。

5 指標の内容を定める観点

指標の内容を定めるため、教諭用、養護教諭用、栄養教諭用、校長用、幼稚園教諭用にそれぞれ、以下の観点を設定する。

教諭用	
A：教職の実践に関する資質・能力	B：教職の素養に関する資質・能力
<p style="color: green;">（指標との整合性により削除）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導力 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒理解力、教育相談力 ・集団指導力、学級経営力 ○学習指導力 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的授業力、カリキュラム・マネジメント ・指導の積極的改善 ・教師としての専門性の構築、専門教科の指導力強化 ○特別支援教育力 <p style="color: green;">（指標との整合性により削除）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な人間力 <ul style="list-style-type: none"> ・社会力 ・豊かな人間性・教養 ・学び続ける姿勢 ○教育公務員としての自覚 ○チームマネジメント能力 <ul style="list-style-type: none"> ・経営参画意識 ・連絡調整力 ・チーム運営力 ・後輩への指導・助言力 ○危機管理対応能力 <ul style="list-style-type: none"> ・学校・園の安全管理 ・学校・園の情報管理
○ICT活用力・情報モラル	

養護教諭用	
A：養護教諭の実践に関する資質・能力	B：教職の素養に関する資質・能力
<p style="color: green;">（指標との整合性により削除）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康相談力及び保健指導力 ・保健管理力 ・保健教育力 ・保健室経営力 ・保健組織活動力 ○特別支援教育力 ○ICT活用力・情報モラル 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">※教諭用と共通</div>

改正前

栄養教諭用	
A：栄養教諭の実践に関する資質・能力	B：教職の素養に関する資質・能力
<input type="checkbox"/> 栄養教育力 ・食に関する指導力 児童生徒理解力、食育推進力、給食時間における食に関する指導力、教科等における食に関する指導力、個別的な相談指導力 ・学校給食管理力 栄養管理力、衛生管理力 <input type="checkbox"/> 特別支援教育力 <input type="checkbox"/> ICT活用力・情報モラル	※教諭用と共通

校長用
<input type="checkbox"/> 総合的な人間力 <input type="checkbox"/> 教育公務員としての自覚 <input type="checkbox"/> 経営・組織マネジメント力（学校経営力、人材育成力、連携・協働調整力） <input type="checkbox"/> 危機管理

幼稚園教諭用	
A：保育の実践に関する資質・能力	B：教職の素養に関する資質・能力
<input type="checkbox"/> 幼児理解力 ・幼児理解力・教育相談力 <input type="checkbox"/> 保育指導力 ・集団指導力 ・基礎的保育力・カリキュラムマネジメント ・指導の積極的改善 ・保育の専門性の構築 <input type="checkbox"/> 特別支援教育力 ・特別な支援を必要とする幼児への指導・援助力 <input type="checkbox"/> ICT活用力・情報モラル	※教諭用と共通

改正案

栄養教諭用	
A：栄養教諭の実践に関する資質・能力	B：教職の素養に関する資質・能力
（指標との整合性により削除） <input type="checkbox"/> 食に関する指導力 ・児童生徒理解力 ・食育推進力 ・給食時間における食に関する指導力 ・教科等における食に関する指導力 ・個別的な相談指導力 <input type="checkbox"/> 学校給食管理力 ・栄養管理力 ・衛生管理力 <input type="checkbox"/> 特別支援教育力 <input type="checkbox"/> ICT活用力・情報モラル	※教諭用と共通

校長用
<input type="checkbox"/> 総合的な人間力 ①管理職としての見識 ②学び続ける姿勢 <input type="checkbox"/> 教育公務員としての自覚 <input type="checkbox"/> 経営・組織マネジメント力 ・学校経営力 ①学校経営目標の設定と達成 ②カリキュラム・マネジメント ③組織体制づくり ・人材育成力 ①人材育成 ②人材発掘 ③人事評価 ・連携・協働調整力 ①保護者・地域との連携・協働 ②教育委員会等との連携・協働 ③開かれた学校づくり <input type="checkbox"/> 危機管理 ①学校安全管理 ②学校情報管理

幼稚園教諭用	
A：保育の実践に関する資質・能力	B：教職の素養に関する資質・能力
<input type="checkbox"/> 幼児理解力 ・幼児理解力・教育相談力 <input type="checkbox"/> 保育指導力 ・集団指導力 ・基礎的保育力、カリキュラム・マネジメント ・指導の積極的改善 ・保育の専門性の構築 <input type="checkbox"/> 特別支援教育力 （指標との整合性により削除） <input type="checkbox"/> ICT活用力・情報モラル	※教諭用と共通

山形県教員指標 教諭用B【教職の素養に関する資質・能力】 ※○印は、その段階における重点項目

Table with columns: 領域, 資質・能力, 項目, 責任時の姿勢, 始発期, 成長期, 充実期, 組織運営期. Rows include categories like 社会的な能力, 豊かな人間性・教養, 学び続ける姿勢, 教育公務員としての自覚, チームマネジメント能力, 連絡調整力, チーム運営力, 後輩への指導・助言力, 学校・園の安全管理, 学校・園の情報管理.

山形県教員指標 教諭用B【教職の素養に関する資質・能力】 ※空欄の矢印(↓)は、これまでに身に付けた資質・能力の維持・向上を意味する

Table with columns: 領域, 社会的な能力, 総合的な人間性・教養, 教育公務員としての自覚, チームマネジメント能力, 危険管理対応能力. Rows include categories like 社会的な能力, 豊かな人間性・教養, 学び続ける姿勢, 教育公務員としての自覚, チームマネジメント能力, 連絡調整力, チーム運営力, 後輩への指導・助言力, 学校・園の安全管理, 学校・園の情報管理.

山形県教員指標 養護教諭用A【養護教諭の実践に関する資質・能力】 ※○印は、その段階における重点項目

Table with 5 columns: 資質・能力, 項目, 着任時の姿, 始発期, 成長期, 養護教諭用A, 組織運営期. Rows include 健康相談力及び保健指導力, 保健管理力, 保健教育力, 保健室経営力, 保健組織活動力, 特別支援教育力, ICT活用力・情報モラル.

山形県教員指標 養護教諭用A 【養護教諭の実践に関する資質・能力】

※空欄の矢印(↓)は、これまでに身に付けた資質・能力の維持・向上を意味する

Table with 5 columns: ステップ, 健康相談力及び保健指導力, 保健管理力, 保健教育力, 保健室経営力, 保健組織活動力, 特別支援教育力, ICT活用力・情報モラル. Rows include 1. 児童生徒に対する深い教育愛, 2. 児童生徒の心身の健康課題, 3. 学校内(学校医等を含む)の関係者及び地域の関係機関等と連携, 4. 学校での事例検討会を積極的に行う, 5. 養護教諭の職務及び役割の理解, 6. 健康に関する個人情報の管理, 7. 健康観察や健康診断等を実施, 8. 必要に応じて地域の医療機関等と連携, 9. 学校薬剤師と連携, 10. 学校での事件・事故・災害等の予防的措置や健康に関する危機管理, 11. 管理職とともに、事故予防に学校全体が主体的に取り組む体制をつくる, 12. 児童生徒の心身の健康管理を行う, 13. 学習指導要領を理解し、保健教育を行う, 14. 学級担任・保健体育科教師等と連携, 15. 次世代に生命をつなぐことの大切さなど、生命尊重を基盤とした性といのちの教育, 16. 保健教育において、PDCAサイクルを展開, 17. 保健に関する情報収集を行い、家庭や地域に情報発信し、学校保健活動への理解や協力を得る, 18. 各教科や特別活動等における保健に関する指導計画の策定に参画, 19. 管理職とともに、児童生徒の健康課題の解決に向けた体制づくりができる, 20. 保健室の機能及び保健室経営について理解, 21. 設備・備品の管理や環境衛生の維持を基盤とした性といのちの教育, 22. 保健室経営計画を策定し、教職員、保護者への周知とともに、実施、評価、改善を行い、効果的に保健室経営ができる, 23. 学校保健活動のリーダー的存在となり、学校保健活動のセンター的機能を果たす保健室経営を行う, 24. 関係機関と連携して、学校全体の児童生徒理解の上に立った指導を行う, 25. 地域の健康づくりの取組みと連携した保健室経営を行う, 26. 人とのつながりを大切に、児童生徒や教職員と良好なコミュニケーションを図る, 27. 学校保健計画の作成に参画, 28. 児童生徒保健委員会活動において、児童生徒が主体的に活動できるように指導, 29. 健康に関する校内研修を計画的に実施するための共通理解を図り、組織的に学校保健活動ができる, 30. 学校保健委員会等の組織活動の企画・運営に参画し、学校医、保健者及び関係者の参加・協力体制を構築, 31. 教職員の保健部の組織が円滑に機能するよう、指導的役割を果たすことができる, 32. インクルーシブ教育システムの考え方や、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の特性等を理解, 33. ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業や指導を行う, 34. 児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえた適切な指導・支援を行う, 35. 個別の指導計画や個別の教育支援計画の意義を理解して作成し、活用, 36. 共生社会の実現に向け、深い専門知識やコーディネーター力をもとに、教育的支援を行う, 37. 地域の関係機関の役割を理解し、連携しながら、学校・家庭・地域での支援を効果的につなぐ, 38. 学校におけるICT活用の意義と情報モラルを正しく理解し、ICT機器の適切な活用, 39. ICT機器の積極的な活用により、児童生徒の情報活用能力と情報モラルを育成, 40. ICT機器の活用、情報モラル教育を同僚とともに推進し、学校のICT活用を進め, 41. 情報モラル等に関する情報収集を行い、SNS等の有益性及び危険性を理解し、的確な対策を行う

山形県教員指標 栄養教諭用A【栄養教諭の実践に関する資質・能力】 ※○印は、その段階における重点項目

Table with 5 columns: 領域, 項目, 達成時の姿, 始発期, 成長期, 充実期, 組織運営期. Rows include 児童生徒理解力, 食に関する指導力, 学校給食管理力, 特別支援教育力, ICT活用能力・情報モラル.

山形県教員指標 栄養教諭用A 【栄養教諭の実践に関する資質・能力】

※空欄の矢印(↓)は、これまでに身に付けた資質・能力の維持・向上を意味する

Table with 5 columns: 領域, 項目, 個別的な相談指導力, 学校給食管理力, 特別支援教育力, ICT活用能力・情報モラル. Rows include 児童生徒理解力, 食に関する指導力, 学校給食管理力, 特別支援教育力, ICT活用能力・情報モラル.

改正前

山形県教員指標 校長用		☆「指標」校長用☆	
領域	資質・能力	項目	
総合的な人間力	管理職としての見識	1 学校の責任者として、自己管理に努め、職業倫理の模範を示すとともに、豊かな経験にもとづき、的確で迅速な判断・決断をしリーダーシップを発揮する。	
		2 国や県、市町村教育委員会の教育施策について情報を収集し、広い視野で自校を取り巻く状況を把握し、教育哲学や理念に基づいた学校経営を行う。	
	学び続ける姿勢	3 「令和の日本型学校教育」の実現のため、自ら研究と修養に励み資質・能力を磨くとともに、職務上の自らの言動や行動を絶えず省察し、校長としてのマネジメント力等の向上を図る。	
教育公務員としての自覚		4 教育公務員として自ら法令を遵守し、「師表」となるべく誠実かつ厳正に職務を遂行するとともに、自らを範とする努力を重ね教職員を指導する。	
経営・組織マネジメント力	①学校経営目標の設定と達成	5 自校の実態と使命を踏まえ、様々なデータや学校が置かれた内外環境に関する情報を収集・整理・分析、組織内で共有しながら先見性をもって経営目標を策定し、その実現に向けて経営戦略を構築する。	
		6 学校評価をもとに教育活動や学校運営の状況を的確に把握し、継続的な評価・改善を行うとともに、積極的な情報発信を行い、説明責任を的確に果たす。	
	②カリキュラムマネジメント	7 教育目標の具現化に向けて学校の使命や教職員の実態等を踏まえ、特色を活かしたカリキュラムの作成・管理・改善にリーダーシップを発揮する。	
		8 組織運営にかかわる内部・外部の環境条件を把握し、事務職員、技能職員等の職務も理解しながら、強みを活かした教育活動の実現に向けた組織づくりを行う。	
	③組織体制づくり	9 「いのち」を大切にし、生命をつなぐ教育を推進するとともに、いじめや不登校等の生徒指導上の課題に、組織で対応する「チーム学校」づくりに指導性を発揮する。	
		10 職場内のコミュニケーションを通じて協働性・同僚性・服務規律の高い教職員集団を育成する。	
		11 業務の効率化を図り、ゆとりを生み出すとともに、教職員のメンタルヘルスマネジメント及びハラスメント防止を進め、良好な職場環境づくりを行う。	
	人材育成力	①人材育成	12 教職員一人一人の能力や適性を把握し、チームや学年、教科等によるOJTを推進するとともに、キャリアステージに応じた外部での研修を促す。
		②人材発掘	13 ミドルリーダー・シニアリーダーの育成を図り、管理職にふさわしい人材を発掘する。
		③人事評価	14 人事評価について十分に理解を深め、所属職員に対して適切な指導助言を行う。
	連携・協働調整力	①保護者・地域との連携・協働	15 保護者、地域の多様な関心やニーズを的確に把握し、学校の教育計画や教育活動に適切に外部の方の参画を促すなど、連携・協働を推進し、学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化する。
②教育委員会等との連携・協働		16 学校の課題解決に向けて、教育委員会や関係機関と連携・協働する。	
③開かれた学校づくり		17 地域の自然・歴史・文化・産業等の特色を活かし、郷土愛や地域への参画意識を醸成するため、家庭・地域に開かれた学校づくりを行う。	
危機管理	①学校安全管理	18 危機管理マニュアルの整備や防災教育の充実を図り、事故等の未然防止に向け平素から職員の危機管理能力を高めるとともに、緊急時の対応においてリーダーシップを発揮する。	
		19 予算編成の趣旨を踏まえ効果的な予算の執行管理及び公金や諸帳簿の管理を適切に行うとともに、校舎内外の学校施設の修繕・安全管理を徹底する。	
	②学校情報管理	20 HP、校内ネットワーク、ソフトウェア等における情報漏洩防止のため、厳正なセキュリティ管理を実施する。	

改正案

山形県教員指標 校長用		項目
観 点		
総合的な人間力	①管理職としての見識	1 学校の責任者として、自己管理に 基づく 職業倫理の模範の 提示 と豊かな経験に基づく的確で迅速な判断・決断及びリーダーシップの発揮
		2 国や県・市町村教育委員会における教育施策について情報収集し、広い視野で自校を取り巻く状況を把握 しながら取り組む 、教育哲学・理念に基づいた学校経営の 実践
教育公務員としての自覚	②学び続ける姿勢	3 「令和の日本型学校教育」の実現に向け、研究・修養による自らの資質・能力の研鑽と職務上における自らの言動・行動の 日常的な省察 による、校長としてのマネジメント力等の向上
		4 教育公務員として、法令の遵守及び「師表」となる誠実・厳正な職務の遂行と自らを範とする努力を 伴う 教職員への指導
経営・組織マネジメント力	①学校経営目標の設定と達成	5 様々なデータや内外環境に関する情報の収集・整理・分析と組織内での共有、自校の実態・使命を踏まえ、先見性をもった経営目標の策定とその実現に向けた経営戦略の構築
		6 教育活動や学校運営に関する学校評価による的確な状況の把握と継続的な評価・改善の 実施 、積極的な情報発信による的確な説明責任の 遂行
	②カリキュラム・マネジメント	7 教育目標の具現化を目指し、学校の使命や教職員の実態等を踏まえた特色あるカリキュラムの作成・管理・改善における、リーダーシップの発揮
		8 強みを活かした教育活動の実現に向け、組織運営にかかわる内外の環境条件を把握し、事務職員や技能職員等の職務の理解を図るなど、 多様な専門性を活かした組織づくりの推進
	③組織体制づくり	9 働き方改革に係る自校の取組み状況及び課題の把握、課題解決に向けた取組みの推進
		10 いじめや不登校等、生徒指導上の課題に組織で対応できる「チーム学校」づくりの推進
		11 職場内のコミュニケーションを通じた協働性・同僚性・服務規律の高い教職員集団の育成
	人材育成力	12 教職員一人一人の能力や適性の把握 に基づく 、チーム・学年・教科等によるOJTの推進と 教職員の キャリアステージに応じた外部研修参加の 促進
		13 ミドルリーダー・シニアリーダーの育成と管理職にふさわしい人材の発掘
		14 人事評価の十分な理解 に基づく 、所属 教職員 に対する適切な指導助言
	連携・協働調整力	①保護者・地域との連携・協働
②教育委員会等との連携・協働		16 学校の課題解決に向けた、教育委員会や関係機関との連携・協働
③開かれた学校づくり		17 郷土愛や地域への参画意識の醸成に向け、地域の自然・歴史・文化・産業等の特色を活かした、家庭・地域に開かれた学校づくりの 推進
危機管理	①学校安全管理	18 事故等の未然防止や 適切な対応 に向けた、危機管理マニュアルの整備や防災教育の充実と平素から職員の危機管理能力を高める 指導助言 、緊急時の対応におけるリーダーシップの 発揮
		19 予算編成の趣旨を踏まえた、効果的な予算の執行管理と適切な公金・諸帳簿の管理、校舎内外の学校施設の修繕・安全管理の徹底
	②学校情報管理	20 情報セキュリティポリシーに則った、情報漏洩防止等のための厳正なセキュリティ管理

